

全木連時報

3月25日(月曜日)
(第528号) (毎月25日発行)
平成14年(2002年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
代表者 後藤 隆一
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

「地域材利用推進方向」と

「木材産業体制整備基本方針」を策定

施策展開の基本姿勢を明示

林野庁は二月二十五日、地域材利用の推進方向及び木材産業体制整備の基本方針」を策定し、都道府県に通知した。この推進方向及び基本方針は、森林・林業基本計画(昨年十月に決定)に定められた木材利用の目標を實現するために必要な取り組みを具体的に示したものである。特に基本方針では具体的な数値目標も示しつつ、各部門ごとに体制整備の方針を打ち出している。これを受けて都道府県では構造改革プログラムを策定することにより、今後はこれを踏まえて各種施策が展開されることになっている。

地域材利用の推進方向

基本的な考え方は、地域材の利用推進が林業・木材産業の活性化を通じて、森林整備の適切化につながるが、ひいては森林の多面的機能の持続的発揮にも貢献するといふもの。特に温暖化防止の面から、木材の利用及び木質バイオマスエネルギーの利用を推進することが必要だと位置付けている。

各項目ごとに提示した。

この中では、森林所有者から住宅生産者までの関係者が連携した「顔の見える木材の家づくり」を推進することや、モデル的な公共施設を整備などを通じて公共部門において地域材の利用を推進することなどを打ち出している。

木材産業体制整備の基本方針

基本的な考え方として、徹底した低コスト化やロットの確保、品質・性能の明確化などによる「大量消費の市場に向けた取り組み」と、顔の見える木材による家づくりを通じて消費者のニーズに対応

した製品を供給する「関係者の連携に向けた取り組み」の二方向の取り組みを地域の特性に応じて選択し、今後のあるべき姿を明確にすることとした。

素材生産部門については、機械化や合併・協業化、団地化などにより安定供給体制を整備。年間素材生産量が五千 m^3 以上の事業者における生産性は、現行(平成十二年)の四・一 m^3 /人日を平成十二年には五・〇 m^3 /人日に向上させる。

加工部門の中で製材については、大量消費市場に向けた取り組みを中心に展開することが必要だとした。具体的な取り組みとしては、新たな施設の整備や旧生産体制の再編による低コスト化、乾燥、グレーディングなどの設備を整備した品質・性能の明確な製品の供給、規模拡大や共同出荷体制による供給ロットの拡大、乾燥コストの低減、特色ある地域材の供給が可能なる場合は、住宅生産者や消費者と連携して差別化された製品の供給を推進する。などを挙げた。

また、製材工場の生産性を、現行(平成十一年)の三百六十 m^3 /人年から平成二十二年には五百五十 m^3 /人年に向上させる。

集材材及び合板への国産材利用量は、平成十一年のそれぞれ年間三十万 m^3 、十四万 m^3 を、平成二十二年にはそれぞれ年間百九十万 m^3 、百十万 m^3 に向上させる。

原木流通においては、原木市場の整理・統合による大規模化によって、原木市場の機能の向上を推進する。

製品流通においては、プレカット工場を重要な拠点と位置付け、情報提供機能などを高度に活用する。製品市場はストック機能や与信管理機能を活かした総合的な住宅資材の供給基地としての方向を目指す。卸売・小売は情報発信・提供能力を活かして商流を分担する方向を一層推進する。

このほか、木材関連業者による大規模な団地的取り組みの推進や、価格や流通過程の透明性の確保、企画・認証等の導入・見直しなどにも取り組むこととしている。

目次

- 一面 「地域材利用推進方向」、
「木材産業体制整備基本方針」策定
- 二面 木と暮らすフェスティバル
製材JAS規格の一部改正
- 三面 住宅金融公庫からのお知らせ
- 四面 製材JASマニュアル
景況調査

木と暮らす

フェスティバル2002

晴天に恵まれ、横浜・大阪会場とも来場者が殺到

全木連は、三月二・三日にパシフィコ横浜で、同月九・十日には大阪ドーム球場で「木と暮らすフェスティバル2002」を開催した。両会場とも大盛況で、来場者は思い思いに木とのふれあいを楽しんでいた。

横浜会場

会場には二日間で二万人弱の浜っ子が訪れた。

初日は正午開場。開会式では主催者を代表して全木連庄司会長代行が、また、来賓を代表して林野庁米田次長がそれぞれ挨拶した。

初日の開場時間は午後七時まで、二日目は午前十時開場、午後五時までであったが、両日とも終日大いににぎわった。

出展者は四十団体。二日間を通じてひとときわ人気を呼んだのが自然派タレントの清水国明氏参加の「ウッドライフコーナー」や



(横浜会場) 清水国明氏のトークショー

「チャリティーオークション」であった。

また、木と暮らしのシンポジウム「今、だから、地域材で居住空間をPart 1のづくり、人づくり、人の輪づくり」が同会場二階で開催された。

大阪会場

会場には目標の二万五千人を大幅に上回る三万三千人の浪速っ子が訪れ、ドーム球場が狭く感じられるほどだった。

大阪会場は全国森林組合連合会との共催で「森林と木と人と暮らしのフェスティバル」と銘打って開催し、全木連関係は二十三団体が出展。

開会式では主催者を代表して全森連飯塚会長と全木連中谷近畿支部長が挨拶、さらに来賓を代表して元農林水産大臣・谷洋一衆議院議員、林野庁加藤長官がそれぞれ挨拶した。開場時間は初日が午前十時～午後五時、二日目は午前十時～午後四時。二日間とも常に来場者が途切れることなく大盛況で



(大阪会場) ドーム球場内のフェア全景

あった。

大阪会場では、タレントの浜村淳氏のトークショー、仮面ライダー龍騎ショー、もくもくサイエンスに人気が集まった。

また、木と暮らしのシンポジウム「快適な住まいとは何か：木の家をどうつくるかを考える」はオンラインディスプレイ方式によりメインステージで開催し、好評を博した。

恒例のチャリティーオークションも大人気で、これまで三会場で開催されてきたプレカット材による木造軸組住宅の入札が先頭を切つて行われ、大阪在住の男性が落札した。

来場者は総じて「来て良かった。元気が出た」「木の世界に浸り癒された」と、木に触れ、木と楽しみ、木に学ぶことのすばらしさを異口同音に語っていた。

また、出展団体の関係者は出展物の説明を通じて健康と木材、環境と木材等についても熱心に来場者に語りかけていた。

針葉樹構造用製材 JAS規格が一部改正

三月一日から施行

「針葉樹の構造用製材の JAS 規格」が昨年十一月三十日に一部改正され、今年三月一日から施行された。改正のポイントは次の通り。

乾燥材で寸法仕上げがされた、需要者が直ちに使用可能な「仕上げ材」と、乾燥材であっても挽き立て寸法のままであり、寸法調整等のため表面切削等を行う必要がある「未仕上げ材」とに構造用製材を区分することにした(表)。

仕上げ材は従来どおり規定寸法と寸法許容差の基準は、従来は法としたが、未仕上げ材は標準寸法とした。ただし、設計計算により必要とされた寸法で、構造用として適当と認められた寸法は認定寸法として認める。寸法の種類は、従来は木口の短辺に対応する長辺の寸法で、最小16mmから最大360mmまでであったものに390mmを追加して、断面寸法は百二十九種類から百三十八種類となった。

仕上げ材と未仕上げ材ごとに含水率の基準を設けた(表)。乾燥処理をしても寸法調整をしていない未仕上げ材は、建築時等には寸法の再調整が必要となることから未仕上げ製材と位置付け、含水率も特に二五%が残された。

表 「仕上げ材」「未仕上げ材」の定義

仕上げ材	構造用製材のうち、乾燥処理を施した後、材面調整を行い、寸法仕上げされたものをいう。
未仕上げ材	構造用製材のうち、乾燥処理を施した後、寸法仕上げをしないものをいう。

表 含水率の基準

	含水率による区分	含水率
仕上げ材	SD15	15%
	SD20	20%
未仕上げ材	D15	15%
	D20	20%
	D25	25%

寸法許容差の基準は、従来は法としたが、未仕上げ材は標準寸法とした。ただし、設計計算により必要とされた寸法で、構造用として適当と認められた寸法は認定寸法として認める。寸法の種類は、従来は木口の短辺に対応する長辺の寸法で、最小16mmから最大360mmまでであったものに390mmを追加して、断面寸法は百二十九種類から百三十八種類となった。

表 寸法の基準

区 分		表示された寸法と測定された寸法との差	
木口の短辺 及び木口の 長辺	仕上げ材	75未満	+ 1.0 ~ - 0
		75以上	+ 1.5 ~ - 0
	未仕上げ材	75未満	+ 1.0 ~ - 0
		75以上	+ 1.5 ~ - 0
	未乾燥材	75未満	+ 2.0 ~ - 0
75以上		+ 3.0 ~ - 0	
材 長		+ 制限無し ~ - 0	

乾燥材は90mmを境に二区分、未乾燥材は36mm未満と以上、90mm未満以上の三区分としていたが、改正規格では75mmを境とした二区分とし、さらにマイナズ精度は認めないこととした(表)。

ラジアータパインの材面の基準

準を表のように改めた。従来の規定は、成長が特段に良い木材や、髓の部分が多く含む木材の強度が低いため、これらを除く目的で設けられていた。しかし、ラジアータパインは強度実験の結果から、髓からある程度離れた部分であれば、年輪幅がある程度広くても強度は低下しないことが確かめられている。そのため、枠組壁工法構造用製材のJAS規格と同じ扱いにするために改正した。

曲げヤング係数の単位を現行

表 ラジアータパインの材面の基準

甲種構造材	構造用	髓の中心から半径50mm以内の部分の年輪界がないこと。(全等級)
	構造用	木口の長辺が240mm未満のもの(全等級)
乙種構造材	構造用	木口の長辺が240mm以上のもの(全等級)
	構造用	木口の長辺に係る材面におけるりょう線から材面の幅の1/3の距離までの範囲において、髓の中心から半径50mm以内の部分の年輪界がないこと。
構造用 の基準に同じ		

規格の103 kg f / cm²単位から、国際単位に統一するためGpaまたは10⁹N / mm²に改めた。

このほか、針葉樹の地下用製材のJAS規格も含水率規定から二五%を削除して一五%及び二〇%とし、寸法の許容差もマイナズ精度を認めないこととした。

乾燥後に四材面を挽き直し、寸法や材面を調整して高品質製品を製造する製材工場のなかには、従来の寸法固定や許容寸法誤差では製品基準としての適用が難しいと訴える工場が比較的多かった。また、乾燥材の基準も従来の規格では必ずしも実情に合わないとの指摘があった。さらに乾燥に伴う寸法変化と寸法基準の関係を整理する必要もあった。今回の改正はこのような背景を踏まえて実施されたもの。

(住宅金融公庫からのお知らせ)

住宅金融公庫の改革については、昨年十二月に特殊法人等整理合理化計画において閣議決定されました。公庫改革に関する様々な報道が行われる中で、これから融資を受けようとされる一般のお客様や現在返済中のお客様などから、当公庫に様々な不安の声が引き続き、寄せられております。

そこで、公庫に寄せられてくるよくあるご質問及び民間ローンにはない公庫融資のメリットについて、その一部をご紹介します。

つきましては、お客様の誤解や無用の不安を取り除き、的確な情報に基づいてお客様が安心して公庫融資をご利用いただけるよう、お客様に対する住宅ローンの説明の際には、是非、ご活用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、当公庫では、このような不安にお答えするため、チラシ『えっ、公庫が廃止？住宅金融公庫トラの巻』を作成するとともに、同内容を公庫ホームページにも掲載いたしております(URL <http://www.jyukou.go.jp/tiger/index.htm>)ので、併せてご活用いただければ幸いです。

お客様から寄せられてくるよくあるご質問

その1...えっ、公庫が廃止されて、もう融資は受けられないの？

お答えします...大丈夫、ご安心下さい！

お客様が、いま、公庫をご利用いただくことに、何の問題もありません。

5年以内に公庫が廃止されても、その間にお約束したご融資については確実に実行してまいりますので、安心してご利用下さい。公庫が廃止される際、新たな公的な機関(公庫ローンを引き継ぐ独立行政法人)が設立されます。新たな機関が新規のご融資を行うかどうかは、その設立の際、民間金融機関が公庫のように長期・固定ローンを職業などによらず幅広く安定的に提供しているかどうかなどを勘案して決められます。民間住宅ローンの状況を見極めながら、国民の皆様のご期待に応えられるよう適切な対応がなされます。

その2...えっ、今返済している公庫のローンはどうなっちゃうの？

お答えします...大丈夫、ご安心下さい！

現在ご返済中の方も、これからお借り入れいただく方も、公庫廃止後のご返済は、新たに設立される公的な機関(独立行政法人)へ引き継がれます。

引継の際、お客様にご負担はおかけしませんし、金利などの返済条件も一切変わりません。

また、万一ご返済が苦しくなったときの返済条件変更(返済期間の延長、一定期間の元金返済据置き)などのご相談も親身にお受けいたしますので、安心です。

景況調査 = 全木協

2月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕 モニター数131 回答数82 回収率63%

当月の状況			
販売量	増加24% (20)	変わらず36% (29)	減少40% (33)
仕入量	増加16% (13)	変わらず40% (33)	減少44% (36)
販売価格	上昇6% (5)	変わらず74% (61)	下降20% (16)
仕入価格	上昇17% (14)	変わらず68% (56)	下降15% (12)

来月の見通し			
販売量	増加35% (28)	変わらず48% (39)	減少18% (15)
仕入量	増加31% (25)	変わらず45% (37)	減少24% (20)
販売価格	上昇6% (5)	変わらず84% (69)	下降10% (8)
仕入価格	上昇15% (12)	変わらず74% (61)	下降11% (9)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	22% (15)	67% (46)	11% (8)
南洋材	9% (6)	79% (51)	12% (8)
北洋材	20% (13)	66% (42)	14% (9)
国産材	4% (3)	56% (38)	40% (27)
建材	8% (5)	69% (44)	23% (15)

乾燥材取引への関心度	高い	ほどほど	低い
	51% (38)	48% (35)	1% (1)

〔製造部門〕 モニター数114 回答数67 回収率59%

当月の状況			
販売量	増加16% (11)	変わらず42% (28)	減少42% (28)
仕入量	増加16% (11)	変わらず32% (21)	減少52% (35)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず73% (49)	下降24% (16)
仕入価格	上昇10% (7)	変わらず66% (44)	下降24% (16)

来月の見通し			
販売量	増加36% (24)	変わらず48% (32)	減少16% (11)
仕入量	増加28% (19)	変わらず52% (35)	減少20% (13)
販売価格	上昇6% (4)	変わらず79% (53)	下降15% (10)
仕入価格	上昇10% (7)	変わらず76% (51)	下降14% (9)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	40% (15)	47% (18)	13% (5)
南洋材	10% (2)	76% (16)	14% (3)
北洋材	29% (10)	53% (18)	18% (6)
国産材	4% (2)	62% (31)	34% (17)

プレカットの動向		
受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月以上
	87% (20)	13% (3)

JASマニュアル及び JASパンフレットを作成

平成十五年六月からの新しいJAS制度の本格的適用、さらには建築基準法の性能規定化、品確法、消費者契約法等への対応に向け、全木連では、このたび「木材新時代はJAS時代」わかりやすい品質・性能・表示マニュアルへA四版・二色刷り・六〇ページ及びパンフレット、木材の新しい常識へB五版・三色刷り・六ページ）を作成し、会員に配布した。マニュアルは、来年六月十日から新JAS制度が本格的にスタートすることから、JAS制度の必要性とJAS認定工場としてJAS製材品の生産・供給に向けて取り組むうえで必要な事柄をまとめ

内容、針葉樹の構造用製材の日本農林規格についての見直し及び一部改正のポイント、JAS製材品のニーズと使い方のポイント、JAS製材品の生産・普及促進のための対策、JASに関するQ&Aなど。一方、パンフレットは、三月一

日から改正規格が施行された針葉樹の構造用製材等JAS規格の特徴である乾燥、寸法、強度等を明確に図解している。マニュアル及びパンフレットの購入を希望される方は、全木連企画部まで。

木材に関する各種パンフレットの実費頒布

全木連は、このたび木材PR活動の一環として木材に関する各種パンフレット（七種類）を作成し、実費頒布することになりました。パンフレットの購入を希望される方は、全木連総務部庶務課まで。

お役に立ちます 林業信用保証

造林・育林業()、素材生産業、製材業、薪炭生産業、林業種苗生産業、きのこ生産業、木材卸売業を営む方々、木材市場開設者を対象に事業資金の債務保証を行います。詳しくは、当基金、都道府県林務担当課、関係団体の当基金相談員、もよりの金融機関へお問い合わせ下さい。(平成12年10月からの新規対象)

林材業専門の保証機関
農林漁業信用基金

後楽事務所(林業部門)

副理事長 高橋 勲

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12(林友ビル5階)

TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842

ホームページアドレス <http://www.mmjp.or.jp/kikin>

メールアドレス kanrisitu@tokyo.email.ne.jp